

「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案 データベースについて（案）

●概要

各地域における具体的な日本語教育プログラム作成を支援するために、「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案のデータベースを構築し、インターネット経由で検索・閲覧できるようにする。

●活用イメージ

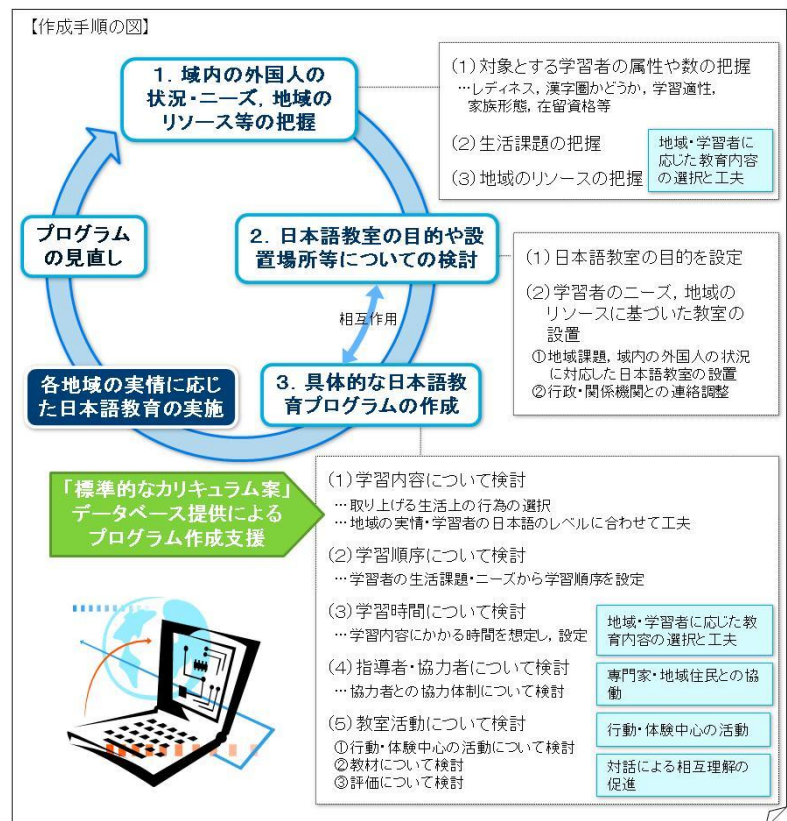
- ・右図参照（「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案 活用のためのガイドブック 7ページを基に作成）

●搭載データ

- ・カリキュラム案…冊子Ⅳ
- ・活用例（実践例）…冊子Ⅴ

●検索機能

- ①分類による検索
- ②キーワードによる検索
検索対象：能力記述、場面（場所、相手、状況・動機）、やり取りの例、機能、文法、語彙
検索方法：完全一致、部分一致
- ③4技能による検索
話す、聞く、読む、書く
- ④活用例（実践例）の検索



●スケジュール

- （～6月末）データベース仕様確定
- （7月～10月）データベース構築作業
- （11～12月）データベース検証・修正作業
- （平成24年1月）一般公開（文化庁ホームページから利用可能）

●予算

4,214 千円